

- 問1 勘合貿易が始まるきっかけにもなった、当時朝鮮半島や中国沿岸を荒らしていた海賊集団のことを何という？
- 問2 明との貿易を開始し、倭寇の取り締まりを行った室町幕府の三代将軍は誰？
- 問3 明に渡って絵画を学び、独自の力強い水墨画を大成させた画僧は誰？
- 問4 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？
- 問5 室町時代に、幕府から地方の軍事・行政権を与えられ、領地を支配した地方官を何という？
- 問6 将軍を補佐し、幕府の政治を統括する最高位の役職を何という？
- 問7 室町幕府が関東地方を支配するために設置した、室町幕府の地方統治機関の設置者は誰？
- 問8 足利義政の後継者争いをきっかけに発生した応仁の乱は、何年間続いた？
- 問9 室町時代に中継貿易で日本や東南アジアと活発にやり取りをしていた国はどこ？
- 問10 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？
- 問11 室町幕府の体制において、将軍の補佐役を務め、地方統政を担う重要な機関でもあった役職を何という？
- 問12 室町時代、3代将軍足利義満が京都の北山に建てた、北山文化を代表する建築物を何という？
- 問13 鎌倉府の長官として、足利氏の一族が世襲して関東地方の軍事や行政を司った役職を何という？
- 問14 下の身分の者が、上の身分を力で倒して地位を奪う、室町時代の社会風潮を何という？
- 問15 首里に築かれ、琉球王国の政治・外交・文化の中心として栄えた拠点を何といいますか？
- 問16 応仁の乱以降、農民や武士が団結して守護大名を倒し、自分たちで地域を治めた動きの一つを何という？
- 問17 室町幕府の足利尊氏によって京都を追われ、吉野に南朝を開いた天皇は誰？
- 問18 室町時代、大規模な内乱の最中に建立され、その後の日本文化の礎となった建物を何という？
- 問19 室町幕府の第3代将軍であり、京都の北山に金閣を建てた人物は誰？
- 問20 鎌倉幕府が滅亡した後、天皇中心の政治を再び行おうとして失敗した人物は誰？
- 問21 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？

答え合わせ・解説

問1	答え 倭寇	倭寇は朝鮮半島や中国沿岸の都市を襲撃し、略奪や密貿易を行っていました。被害に悩まされた明は、日本側にこれらを取り締まるよう要求しました。その結果、室町幕府は正規の貿易船を証明する「勘合符」を発行し、正規の貿易船と海賊を区別することで貿易の安全を図りました。
問2	答え 足利義満	足利義満は室町幕府の三代将軍で、南北朝を合一させ、幕府の権力を安定させました。また、明との貿易を望み、海賊である倭寇を鎮圧することを条件に貿易を再開させ、経済的な基盤を整えました。京都に金閣（鹿苑寺）を建立したことで有名です。
問3	答え 雪舟	雪舟は日本の禅僧でありながら、遣明船に乗って中国へ渡り、本場の絵画技術を学びました。帰国後、彼は風景を大胆な構図で表現する日本独自の水墨画を確立し、数多くの傑作を残しました。「四季山水図巻」などが代表作として知られています。
問4	答え 下剋上	「下剋上」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。守護大名が家臣や国人に実権を奪われる事態が各地で相次ぎました。
問5	答え 守護	守護は幕府に任命された地方の支配者で、軍事と警察権だけでなく、徴税権も認められるようになりました。これにより、守護は領地を支配する「守護大名」へと成長し、地域をより強力に統治するようになりました。
問6	答え 管領	管領は、将軍の下で幕政を統括する最高の役職です。特に斯波・細川・畠山という有力な守護大名の家系が交代で就任する「三管領」と呼ばれる制度が定着しました。
問7	答え 足利尊氏	尊氏は、鎌倉幕府の伝統があった関東地方を安定して統治するため、自身の子供や一族を派遣して「鎌倉府」を置きました。これは、京都の幕府とは別に、東国の軍事や行政をまとめる重要な組織として機能しました。
問8	答え 11	この戦乱は11年もの長期間にわたって続きました。京都の主要な施設や町並みはことごとく焼き払われ、幕府の権力は形骸化しました。全国の守護大名が東軍・西軍に分かれて戦ったため、地方にも戦火が広がり、秩序が大きく崩れました。
問9	答え 中国	中国は当時、非常に進んだ産業や文化を持っており、日本を含む諸国から製品が求められました。琉球王国などは、この中国と日本、あるいは東南アジア諸国の間に立って仲介役を果たすことで、大きな経済的恩恵を受けました。この物流のつながりが、当時のアジアの経済圏を支えていました。
問10	答え 後醍醐天皇	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏は京都を制圧して新たな天皇を擁立し、後醍醐天皇は吉野へ逃れて「南朝」を開きました。これに対して京都の尊氏側を「北朝」と呼び、以後約60年にわたり両者が争う時代となりました。
問11	答え 管領	管領は、足利氏の一門である有力な守護大名（斯波氏、細川氏、畠山氏）が交替で務めた役職で、将軍を助けて幕府の政治や行政を統括しました。鎌倉府のような地方機関が力を強める中、中央の幕府を支える要としての役割を果たしました。
問12	答え 鹿苑寺金閣	鹿苑寺金閣は、この北山山荘の中核として建てられた舍利殿です。2層と3層に金箔が貼られており、池に映る姿は室町文化の豪華さを象徴しています。
問13	答え 鎌倉公方	鎌倉公方は、室町幕府の将軍の親族が任命されることが多く、関東における事実上の将軍代理として君臨しました。関東管領という補佐役をつけ、独自の行政権や軍事動員権を行使することで、強力な地方政権のような形をとっていました。
問14	答え 実力	かつての伝統的な秩序や家柄が重んじられる時代から、個人の能力や武力が重要視される時代へと変化しました。これが「実力」主義的な社会風潮である下剋上の本質です。
問15	答え 首里城	首里城は琉球王国の王宮として建設され、政治、外交、文化の中心となりました。城のデザインには中国や日本の建築様式の影響が見られ、琉球独自の美学と融合した独特な構造をしています。
問16	答え 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の強い信仰で結ばれた民衆が指導者のもとに組織的に戦ったものです。彼らは守護大名を追放し、加賀国のように長期間にわたり自分たちの支配を確立する地域もありました。
問17	答え 後醍醐天皇	武士の支持を失った後醍醐天皇は、足利尊氏と対立して京都を追われました。尊氏が京都に別の天皇を立てると、自らは奈良の吉野へ逃れ、そこで南朝を開きました。これ以降、京都の北朝と吉野の南朝が並立する動乱の時代が始まりました。
問18	答え 応仁の乱	1467年に始まったこの戦いは、全国の守護大名が東軍・西軍に分かれて戦ったため、日本全土に広がりました。これにより、室町幕府の権威は地に落ち、京都の街は焼け野原となりました。
問19	答え 足利義満	義満は京都の北山に別荘として北山殿を造営し、その象徴として金閣を建てました。金閣は伝統的な公家文化と新興の武家文化を融合させた豪華な建物です。この建築様式は、義満の時代の文化を象徴するものとなりました。
問20	答え 後醍醐天皇	後醍醐天皇は足利尊氏や新田義貞らの協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。その後、天皇が権力を集中させる「建武の新政」を開始しましたが、武士の利益を無視した政策が多く、武士たちの反発を招きました。
問21	答え 定期市	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に定期市を開かせました。決まった日に開かれるこの市は、農村や都市の人々が物資を交換する場となり、経済の中心地として発展しました。